



へば図書館さ行くべ 第四回

前回までのあらすじ

レポートのために、初めて図書館で本を借りたサキ。無事にレポートを作成することができたが……

「で、できた……」

レポートのデータを送信して、そのまま机の上に倒れこんだ。

「データだけのメモリに入れておいて、本当によかった〜」

急に自分のノートパソコンの電源が入らなくなったときはどうなることかと思っただけ、データを保存していたメモリだけを図書館に持ち込んで、なんとか推敲とデータ送信ができた。「図書館の3階にノートパソコンがあるなんて知らなかったな〜」

PCサテライトというらしい。辺りを見回すと、私以外にも何人かが真剣な顔でレポートを作成したり調べ物をしてたりしている。「ほら、ここで喋ってれば他の人さ、迷惑だはんで、行くべ」「ありがと、ヒロ。ここ教えてくれて」「バイトさ行く日とかパソコン持ち歩きたくないはんで、たまに使ってるん

だ」

それに静かだし、余計なものが無いから集中できる。家だとい掃除したり雑誌見たり違うことをしちゃうからなあ。

「そういえばここ、印刷もできるんだね」

部屋の真ん中には大きなプリンターが2台置いてある。だいたいのレポートはデータで送るけど、たまに紙で提出しないとイケない課題もあるから、今度使ってみようかな。



「あ、ちょっと待ってける？雑誌見るはんで」

階段で2階に下りたところで、ヒロは急に足早になった。

「図書館に雑誌なんてあったの？」あわててついて行くと、壁際の棚に

ずらっと雑誌の表紙が並んでいた。

「えつ。雑誌ってこんなにあるんだ！」歴史、法律、化学、文学、数学、地域の情報誌……すごい、英語で書かれた雑誌もある。

「私、ファッション誌や漫画しか読んだことなかったなあ」

「学術雑誌はその分野の最新の研究がわかるはんでな。興味がある分野だけでも読んでみれば？」

「んー。じゃあ、これとか？」試しに1冊手に取ってめくってみたけど、ちょっと難しい。

「バックナンバーはこつちな」雑誌の表紙が立かけてある板を持ち上げると、その中には雑誌が何冊も積まれていた。なるほど、こうやって保管してるんだ。

「ねえ、これも借りられるの？」

「バックナンバーだば1週間借りれるよ。最新号は無理だばって」

「……ちょっとチャレンジしてみよう

かな」

今までの私だったら、こんな難しいの読めないって逃げてたと思う。でも、今はちよつとワクワクしている。最初はレポートを書くためだけに図書館に来たけど、ここにはまだ、私の知らないことがたくさんある。

「ここにある雑誌は今年の分。もつと古い分は書庫さあるはんで、今度行ってみるが？」

「うん！」

次回 最終回

